

第3回パークレンジャー養成講座 「みんなで森を調べよう！」

講師：前中 久行



第3回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は6名の受講生が集まり、講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の講座を振り返りました。前回は景観に関する講義と、泉佐野市内の史跡を回るという内容でした。



2. 講義:植生調査の仕方について

元大阪府立大学の前中先生に、「緑地・空間の本質」、「里地里山について」、「植生調査の目的と方法」等についてお話していただきました。空間という考え方の起源にはじまり、日本の公園制度、さまざまな里山の定義やあり方、植生調査の方法について写真やグラフなどのスライドに基づき、詳しくお話していただきました。



3. ボランティアについて

次に、事務局からボランティアについての講義がありました。ボランティアの語源・意味・歴史について解説し、またパークレンジャーでのボランティアの意義について話しました。みなさんと一緒に素敵な公園をつくっていききたいと思います。



5. レンジャー広場での実習1

レンジャー広場に移動し、調査実習が始まりました。まず、樹高の計測から始まりました。目視で計測したあとに、実際の高さを計測します。機材を用いて距離と角度から割り出す方法と、樹高計を用いて測定する方法を学びました。また、調査区域を特定するために、メジャーを使って10m四方の区域をつくる方法も学びました。



6. レンジャー広場での実習2

次に、レンジャー広場の林で実際に植生調査を行いました。10m四方ほどの区域の中で、階層構造の高さを分けた上で、それぞれの階層に出現する植物名を記録していき、総合優先度と群度を判定します。この区域だけでも、アカメヤナギやスギナ、オトギリ草など30種近くの植物が記録されました。パークレンジャーの活動でも、植物を調査する活動があります。植生を知れば知るほど、来園者とのコミュニケーションが豊かになるので、是非がんばっていただきたいです。



《主な感想》

- ・午前中は前中先生より緑地では「すきま」が意味を持つ事を初めに学びました。都市公園と自然公園のちがいと里山は時代や地域によってちがう事、すなわち人間の利用活動による管理作業の結果出来た物である事を学び、植生調査の仕方を勉強しました。午後からは植生調査を実際に行なった。草の種類之多さに驚きました。この講義で学んだことを活かして、パーククラブの活動をしていきます。
- ・山を歩く上で本当にわからない名前も読み取れない草花木がたくさん有ると実感しています。今日もわからないことだらけで、興味津々でした。パークレンジャーの活動を通じて、それが理解できていけるだけで、山に入ったときにわかることが増えるのはシンプルにたのしい。目的に合わせた植生調査。その目的を学ぶのも面白いなあとと思う。
- ・調査道具を使用しての調査を経験しましたが、その難しさと重要性が少し分かりました。これからのボランティア活動に活かしたいと思います。



第4回パークレンジャー養成講座 「地域の景観・歴史・文化を学ぼう！」

講師：嘉名 光市（講義）
東原 直明（史跡見学）



1. 前回の振り返り

第4回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は6名の受講生が集まり、講義を受けました。

初めに、前回の講義を振り返りました。第3回講座は台風接近により延期となったため、第2回講座の振り返りです。内容は、伊藤先生による竹林管理に関する講義と竹の間伐体験でした。



2. 講義：景観づくりを学ぼう

大阪市立大学の嘉名先生より、まず「景観」という言葉の本質について解説されました。景観は、‘単なる眺め’や‘お化粧’ではなく見ている人の評価が入ること、見ているものは同じでも、そこから得ているものや捉え方が違うこと、そのため、10人いれば10通りの景観があることなどをわかりやすく教えていただきました。

その上で、地域を象徴する特徴ある景観を遊路や広場でつなぎ編集すること、景観の魅力をあますことなくデザインすることについて、函館の事例などを用いてわかりやすく解説していただきました。



3. 講義:都市公園法を知ろう

パークレンジャーとして活動するにあたり、都市公園法の考え方を念頭に置いておく必要があります。今回は事務局より、クイズ形式による都市公園法の講義を行いました。特に泉佐野丘陵緑地において考えられる事例(棚田跡の勝手な活用の禁止、竹林のみだりな伐採の禁止など)を出題。パーククラブの活動が都市公園法に基づいて実施されていることを理解していただけたと思います。



4. 泉佐野市内 史跡見学①(意賀美神社)

午後からはバスに乗り、泉佐野市教育委員会の東原先生の案内による史跡見学に出発。初めに、泉佐野丘陵緑地のすぐ近く、意賀美神社を訪問しました。本殿は春日造りで、同種の建造物では大阪府で最も古く、国の重要文化財にも指定されています。この日は、通常は立ち入ることのできない本殿を特別に拝観させていただきました。70年振りに修繕が行われた際の様子など、詳しく教えていただきました。



5. 泉佐野市内 史跡見学②(日根神社)

次に、和泉五社に数えられ、府指定の有形文化財である日根神社を見学しました。本殿の成り立ちや、伝統的な屋根葺手法である「檜皮葺(ひわだぶき)」、水に密着した神社として日根野地域の開発に貢献したことなど、幅広い観点から解説していただきました。



6. 泉佐野市内 史跡見学②(旧向井家住宅)

最後に、江戸時代の農家であり、泉佐野市指定文化財である旧向井住宅を訪問しました。ダイドコが土間側へ半間分突き出る「食い違い四間取り」という特徴や、希少な茅葺き屋根は地元の「茅葺き保存会」で管理されていることなどを教えていただきました。また屋内では周辺で採れる新鮮な野菜が販売されており、地域の方々が集まり活用する場所である様子も伺えました。



《主な感想》

- ・ 公園づくりの目的の一つが景観づくりと理解した。楽しい魅力ある公園にする為に多くの Good view point を発見し、それを紹介する事が大切(名前を付けている古河公園が良い例)
- ・ 今まで景観の意味は単に景色だと思っていましたが、色んな人に来てもらい思いが伝わるような公園の作り方が大事とお話、とてもよくわかりました。無理をせずに見える、目近に視野に入るとのこと。最もだと思います。
- ・ 街中の景観も最近では、随分と変わったように思います。昔は家の周りは高い壁で囲まれ庭は家の縁側から眺めていたのが最近では通りから見えるように変わったようです。

第5回パークレンジャー養成講座

「今後の活動を考えよう！」 講師：下村 泰彦



第5回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は天気も良く、8名の受講生が楽しく講義を受けました。

1. フィールドワークのレクチャー

前回の景観づくりに関する講義の振り返りを行った後、大阪府立大学の下村先生による講義が始まりました。この日は公園の計画づくりを学びます。泉佐野丘陵緑地がどのような協議を経て整備されてきたかについて説明された後、フィールドワークに向けて、重要な視点として「土地利用（地形や植生等）」「園路の形状」「景観（ビュースポットの設定）」等が説明されました。

2. フィールドワーク

フィールドワークでは、望みの丘を中心に歩きました。園路や広場をつくる際に考えるべきことを下村先生より教えていただきながら、各自が気づいたことを地図にメモしていきました。広場からの眺望や坂の傾斜、地面の硬さなど、様々な気づきがあったようです。



3. 土地条件図をつくろう！

お昼休憩の後は、2つのグループに分かれ、「土地条件図」を作成しました。午前中のフィールドワークで気づいたことを付箋に書き出し、A1サイズの望みの丘の図面に貼りながら整理していくというワークです。良いと思ったことは赤い付箋に、改善したほうがよいと思ったことは青い付箋に記しました。「道が狭くて歩きづらい」「竹林が眺望を悪くしている」など、改善すべきと思ったところが多くあったようです。ワークの後は、グループごとに結果を発表しました。

4. コラボレーション区域の基本方針を考えよう！

次に、コラボレーション区域の基本方針を考えました。はじめに下村先生より、図の描き方など図面への整理方法について説明がありました。そしてグループごとで、土地条件図の作成時に洗い出した各地の課題に対し、魅力を向上させるための方策を検討しました。「子どもが観察を楽しめる場所」などエリアごとにテーマを定めた上で、眺望をより良くするための方策や歩きやすくなるための方策、あるいは新しい楽しみ方などを図面に書き込んでいきます。こちらもグループ毎に発表しました。下村先生からは、「テーマを踏まえながら、各ポイントの楽しみ方が物語のように繋がるよう設計するとよい」というアドバイスをいただきました。

5. 閉会

最後はホームルームです。事務局からパーククラブの入会案内、次回の講座について説明が行われ、この日の講座は終了しました。

《主な感想》

- ・今日は実際にパーク内を歩いて、悪い所をメモし、昼からグループに分かれて、マップ上にまとめて発表しました。人によってどう感じるのか、一致するものもあれば、意見が異なることもあって、おもしろいと同時に、それを1つのプランとしてまとめるのは大変だと実感しました。木1つ切るのも大きなことだから、ほんとにゆっくりと変わっていくのだなと思いました。
- ・調査も傾斜について、凄く参考になりました。フィールドワークをしてから、図面を書くのは、一歩進んでいて面白い。
- ・パークレンジャーとしての今後の活動としての考え方として、いよいよパークレンジャーの一員になりつつあるのかなどと実感しつつあります。自分の考え方を実際にものになるか楽しみにしています。



第 6 回パークレンジャー養成講座

「パーククラブ活動を学ぼう！」

講師：パーククラブ代表 松井 弘



パークレンジャー養成講座の最終回を行いました。8 名が参加し、無事に修了式を向かえました。

1. さあ、一緒に活動しよう！

いよいよパークレンジャー養成講座も最終回を迎えました。午前中は、パーククラブの活動を体験するという内容です。パークセンターに集合後、早速パーククラブの朝礼に合流しました。

この日の活動は、カマド造成と農小屋の屋根作りです。カマド造成では、これまでパーククラブと大阪府の間で重ねてきた協議を踏まえて、耐火レンガを試し積みしました。今年度中の完成を目指して、造成を進めていく予定です。

農小屋とは、レンジャー畑の傍に建っている木製の小屋のことです。大阪工業技術専門学校が生徒が開演イベントの際に骨組みを造り、屋根や壁をパークレンジャーが仕上げています。この日は屋根を取り付ける作業でした。先輩レンジャーたちと声を掛け合いながら、楽しく汗を流しました。



2. 講義:「さあ、パーククラブで活動しよう！」

午後は、パーククラブの松井代表と大家事務局長による講義でした。松井代表からは、パーククラブの組織体制や活動内容、ルールなどについて解説していただきました。そして大家事務局長からは、パーククラブの会則について解説していただきました。また studio-L より、パーククラブ専用ページの操作方法について説明いたしました。まずは興味のある活動から気軽に参加していただき、自分のペースで活動に慣れていただきたいと思います。

3. 修了式

講座閉会後に修了式を行いました。岸和田土木事務所の若井所長からの式辞の後、無事に全6回を受講して修了された方々に、修了証が手渡され、パーククラブのユニフォームであるイベントブルゾンと帽子も贈呈されました。その後、運営審議会委員からの激励の言葉として、増田先生から修了生へ向けられたメッセージをご紹介しました。最後に、松井代表からも激励のお言葉をいただきました。これからは、7期生のみなさんにも、先輩パークレンジャーとともに、楽しみながら活躍していただけることを大いに期待しています。

《主な感想》

・本日で最後となり、又はじまりの会と感じています。パーククラブでの活動をいろいろ考えながらの、午前の作業と午後のお話。そして修了式となりました。今後の活動に心配半分、ワクワク半分の気持ちです。養成講座ありがとうございました。

・午前中の“かまど”作りに参加致しました。皆様のチームプレーのすばらしさやプロ級の技術には本当に感心致しました。少しでも貢献できればと考えています。

・今日は初めて、パーククラブの活動に加えていただき、朝から“農小屋”の屋根作り、板張りに参加させていただきました。大作業はたのしく、また年齢層としては、私よりも2回りも上の方々と作業をする新鮮さが清々しかったです。

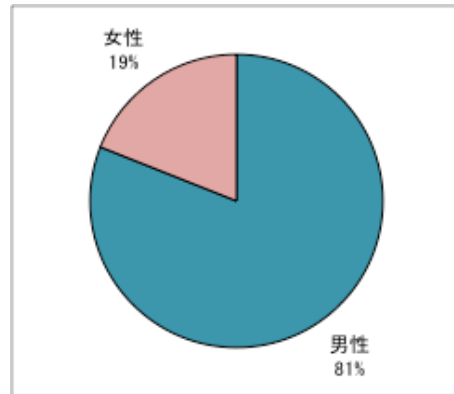
・パークレンジャーの先輩方と協同作業して、同じ目的に向かって初対面であるのに協調出来た。様々な違った意見を集約し、まとめる事の難しさを感じた。しかし、最終的には、一致協力して作業が完了した。



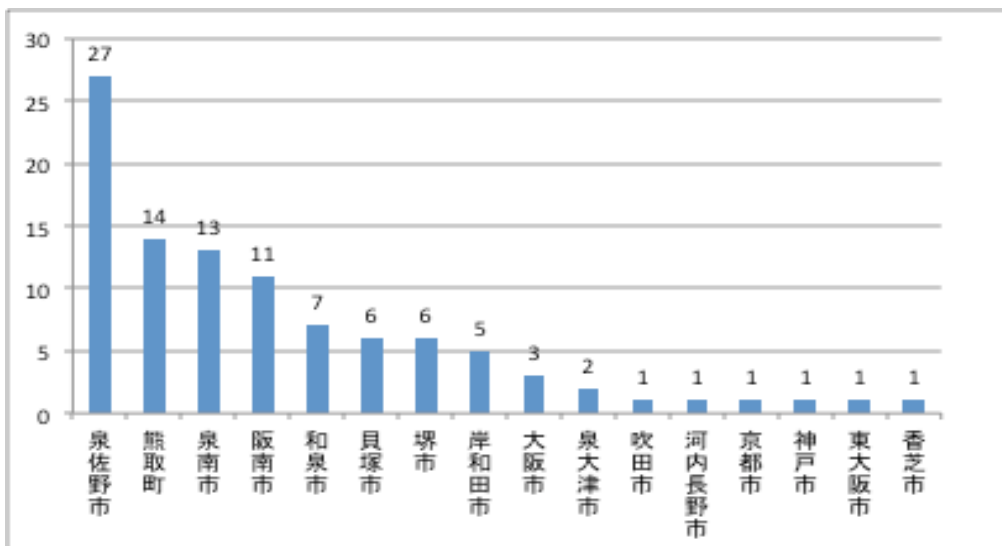
パーククラブ構成（2014年11月末日現在）

1. 男女比

| | |
|----|------|
| 男性 | 81名 |
| 女性 | 19名 |
| 合計 | 100名 |



2. 居住地



3. 養成講座修了期

